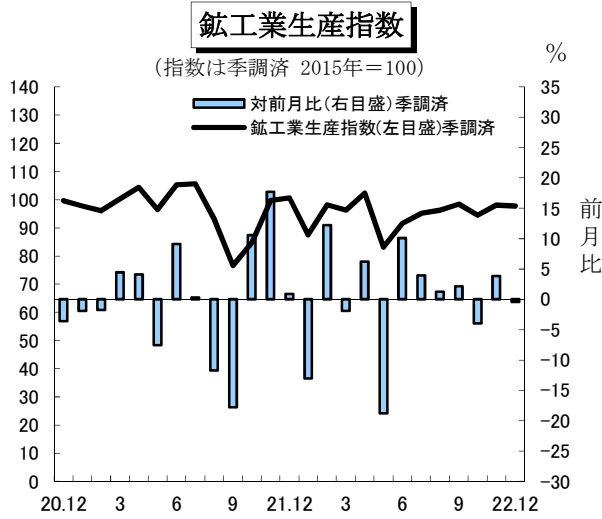


# あいち経済の動き（月報）

（2022年12月分）

## 生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比0.4%の低下



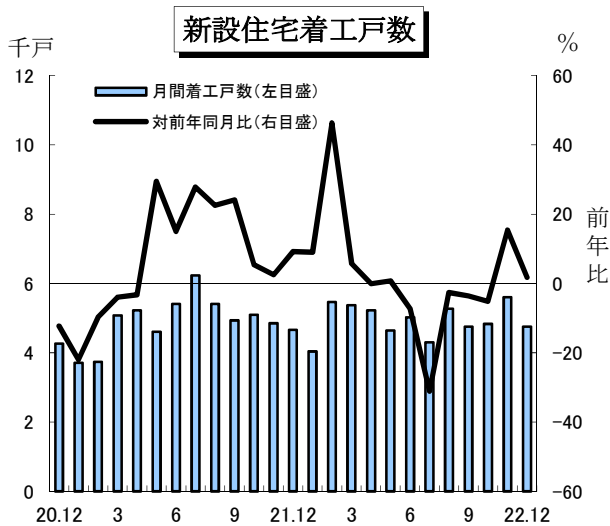
10月	11月	12月
↓	↗	→

**主な指標の動き**

鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比で、電気・情報通信機械工業が4.4%低下するなど、全体で0.4%の低下となりました。

また、鉱工業生産指数(原指数)は、前年比で、鉄鋼・非鉄金属工業が15.3%低下するなど、全体では5.2%の低下となりました。

## 投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年比1.8%の増加



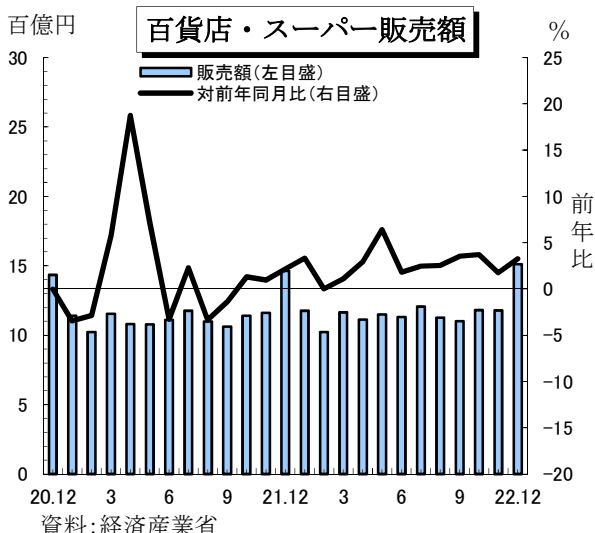
10月	11月	12月
→	↗	→

**主な指標の動き**

新設住宅の月間着工戸数は、前年比で1.8%増となり、2か月連続で増加となりました。

内訳は、持家が11.4%減少したものの、給与住宅が328.6%、貸家が8.0%、分譲住宅が6.3%といずれも増加となりました。

## 個人消費：百貨店・スーパー販売額は、前年比で3.3%の増加



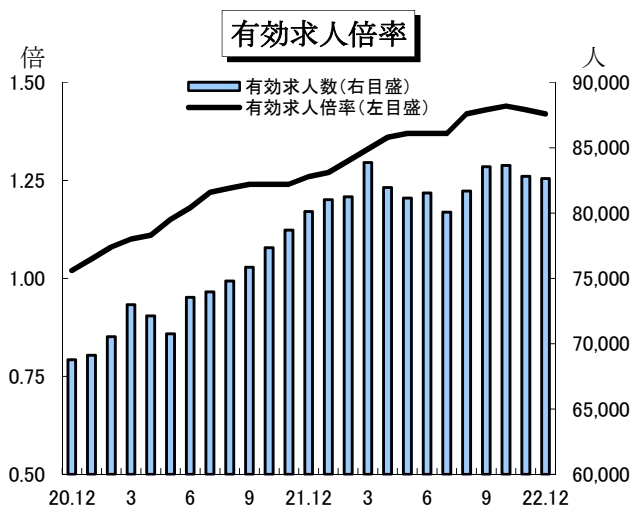
10月	11月	12月
→	→	→

**主な指標の動き**

百貨店・スーパー販売額は、前年比で3.3%増となり10か月連続で増加となりました。

百貨店販売額は、衣料品が5.5%増となるなど、全体では3.3%の増加となりました。スーパー販売額は、飲食料品が4.0%増となるなど、全体では3.2%の増加となりました。

## 雇用：有効求人倍率は、1.42倍



資料: 愛知労働局

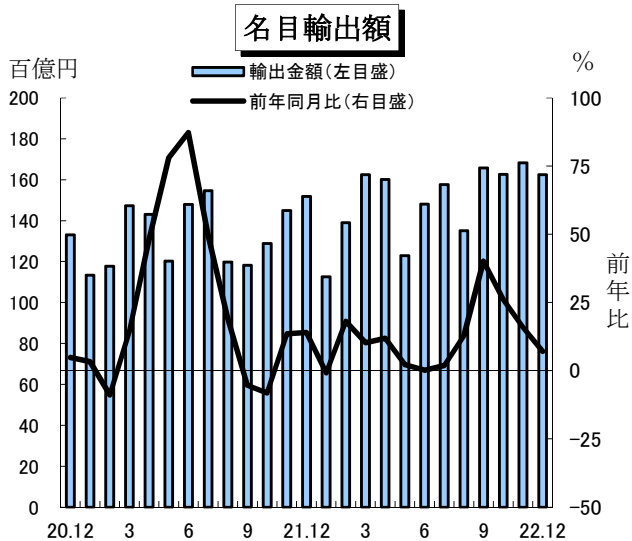
10月	11月	12月
↗	↗	→

### 主な指標の動き

有効求人倍率は、1.42倍と2か月連続で低下となりました。

有効求人数は、前年比で、3.2%増となり、20か月連続で増加となりました。

## 貿易（輸出）：名目輸出額は、前年比7.1%の増加



資料: 名古屋税関

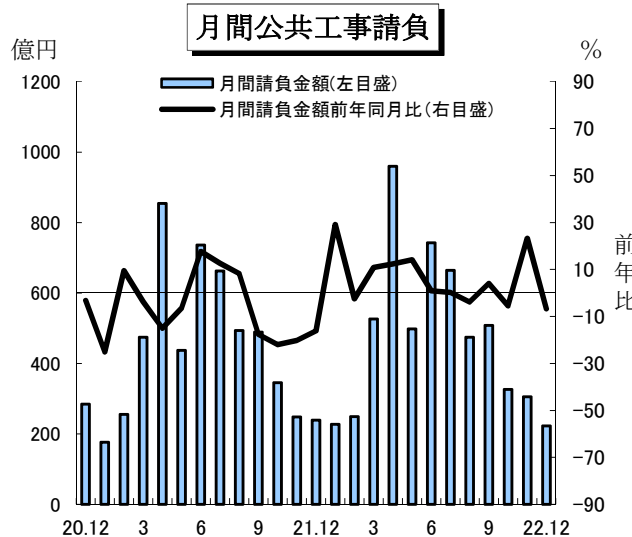
10月	11月	12月
↗	↗	→

### 主な指標の動き

名目輸出額は、前年比で7.1%増となり、11か月連続で増加となりました。

地域別にみると、EU向けが15.3%、北米向けが4.0%といずれも増加したものの、アジア向けは2.4%の減少となりました。

## 投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年比6.7%の減少



資料: 東日本建設業保証(株)

10月	11月	12月
↘	↗	↘

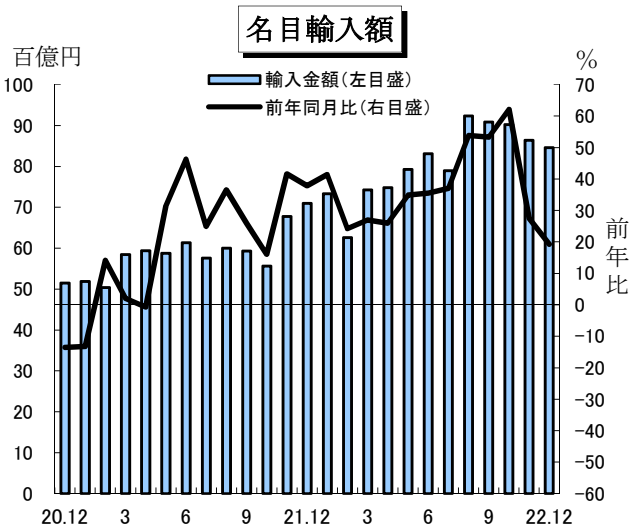
### 主な指標の動き

公共工事の月間請負金額は、前年比で6.7%減となり、2か月ぶりに減少となりました。

月間請負件数は、前年比で2.3%増となり、2か月連続で増加となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

## 貿易（輸入）：名目輸入額は、前年比19.2%の増加



資料:名古屋税関

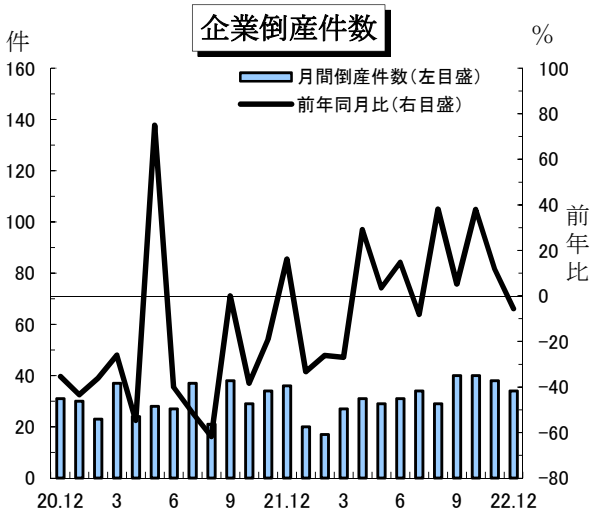
10月	11月	12月
↗	→	→

### 主な指標の動き

名目輸入額は、前年比で19.2%増となり、20か月連続で増加となりました。

地域別にみると、アジアからは5.6%、北米からは20.9%といずれも増加したものの、EUからは12.6%の減少となりました。

## 企業（倒産）：月間倒産件数は、前年比5.6%の減少



資料:(株)東京商工リサーチ名古屋支社

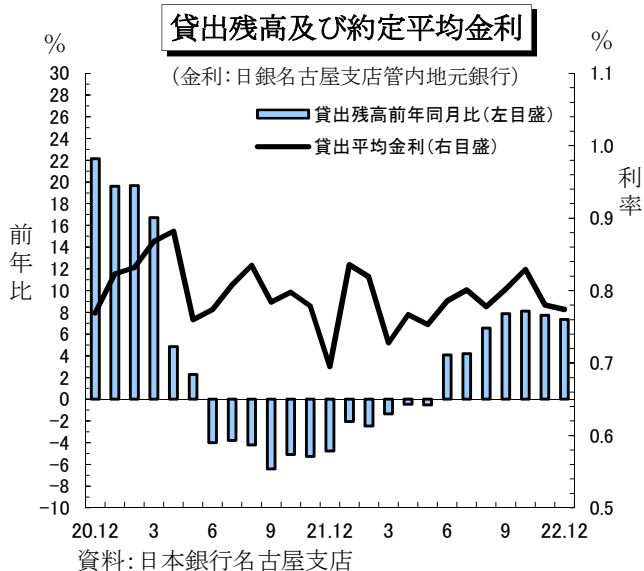
10月	11月	12月
↘	→	↗

### 主な指標の動き

企業の月間倒産件数は34件と、前年比で5.6%減となり、5か月ぶりに減少となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順にサービス業他が15件、建設業が6件、製造業、小売業が各4件、卸売業が3件、運輸業、情報通信業が各1件となっています。

## 金融：貸出残高は、前年比7.3%の増加



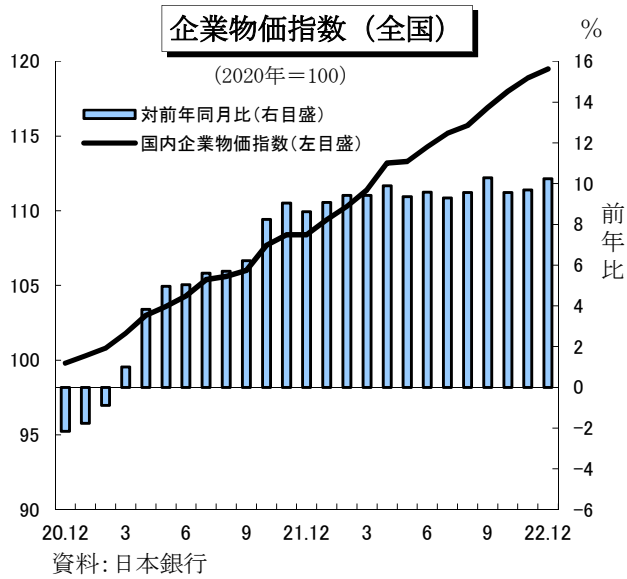
10月	11月	12月
↗	↗	→

### 主な指標の動き

貸出残高は、前年比で7.3%増となり、7か月連続で上昇となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

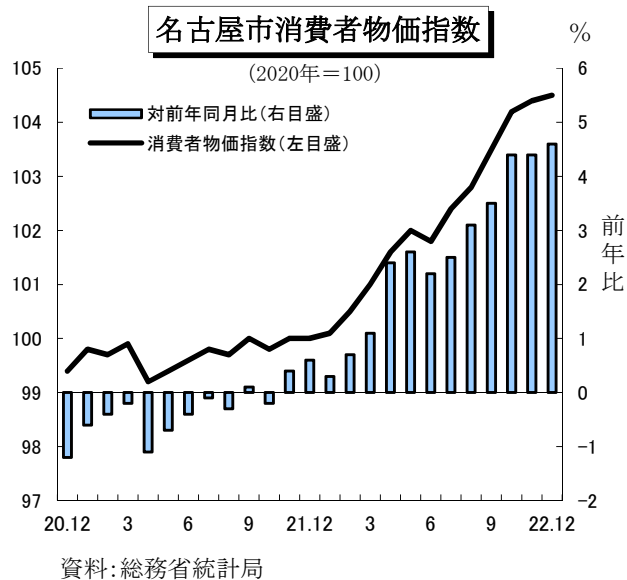
## 物価（企業）：企業物価指数は、前年比10.2%の上昇



10月	11月	12月
↗	↗	↗

主な指標の動き		
国内品の企業物価指数は、119.5と前年比で10.2%上昇し、22か月連続で上昇となりました。		
前月比では0.5%上昇し、25か月連続で上昇となりました。		

## 物価（消費者）：名古屋市消費者物価指数は、前年比4.6%の上昇



10月	11月	12月
↗	↗	↗

主な指標の動き		
名古屋市消費者物価指数(総合)は、104.5となり、前年比で4.6%上昇し、14か月連続の上昇となりました。		
前月比では、0.1%上昇し、6か月連続で上昇となりました。		

(注) 矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

## 経済指標の矢印判定の推移

	22年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産						
投資(住宅建設)						
個人消費						
雇用						
貿易(輸出)						
投資(公共工事)						
貿易(輸入)						
企業(倒産)						
金融						
企業物価						
消費者物価						
	6	6	7	6	8	3
	3	1	1	1	2	7
	1	3	0	3	0	1
	1	1	3	1	1	0

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準	
生産		愛知県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」 ／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外	
投資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工件数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
個人消費		経済産業省「商業動態統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」 ／大型小売店販売額合計（百貨店＋スーパー）	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
雇用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外	
企業	倒産	(株)東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同対3か月前比プラス →：上記以外	
貿易	輸出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
	輸入	同上／名目輸入額	同上	
金融		日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同対3か月前比マイナス →：上記以外	
物価	企業物価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外	
	消費者物価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同上	
区分		上昇 ↗	横ばい →	下降 ↘

(注) 1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↗”を表示する。